

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 延岡市教育委員会
2. 研究主題 : 魅力ある学校統合事例の創出
3. 研究タイトル : 小中一貫校ならではの取組を生かした「地域とともにある学校づくり」の推進に関する調査研究
4. 研究課題 : ア. 統合後の学校が新たな学区の地域コミュニティの核として高い教育機能を発揮するための方策に関する研究
エ. その他、統合を契機とした魅力的な学校づくりに関する先進的な取組

5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

平成26年4月に小学校4校、中学校1校を統合再編して開校した施設一体型小中一貫校である延岡市立北方学園を調査研究の柱とする。北方学園は、約200km²の広い校区を有し、閉校した学校のうち3校がへき地校であり、その地域の活力が失われてきている。そこで、閉校した学校の校区を含めた北方町全体との結び付きをさらに強化し、小中一貫校ならではの強みを生かした「地域とともにある学校づくり」「ふるさと学習を基軸としたキャリア教育」に取り組み、本市のみならず他県の自治体も参考となるような実践を行うとともに、地域の活性化に寄与する。

※要点をまとめ、簡潔に記載すること。

(2) 調査研究の実施状況（平成29年度）

7月	各種団体との打合せ、三椏地区での川遊び体験（小学1年）、八峽田んぼでの田植え（小学5年）、北方地場産業体験学習（中学1年）
8月	旧小学校区ごとに防災学習の実施、職場体験学習（中学2年）
9月	栗拾い体験（小学1・2年）、ダンボールボート体験と水生生物調査（小学3年）、Eボート体験と安全な川遊びの学習（小学5年）、修学旅行班別自主研修（小学6年）、北方トップセールス（中学2年）、ロケット製作（中学3年）
10月	八峽の田んぼでの稲刈り（小学5年）
11月	第1回調査研究推進会議、干支の町フェスティバルへの参画（中学1年～中学3年）、芋の収穫と料理体験（小学2年）、上崎地区みかん狩り（小学1・2年）、柿狩り（小学3年）、宿泊学習（むかばき登山 小学5年）、延岡の観光についての講話（小学6年）
12月	菅原神楽見学、玉ねぎ植え体験（小学3年）、野菜料理体験（小学4年）、地層見学・講話（小学6年）、コノハナロード苗植え（小学6年）、企業訪問（中学3年）、ロケット飛ばし（中学3年）、しろやま支援学級生による門松作り
1月	昔の遊び交流（小学1年）、もち米を使った料理体験（小学5年）、コノハナロードの花の手入れ（小学6年）
2月	第2・3回調査研究推進会議、曾木探検（小学2年）、コノハナロードの花苗植えと手入れ（小学6年）、北方サミット関連講話（外部講師参加 小学5年～中学3年）

3月	上鹿川キャンプ場での環境学習（小学5年）、西郷資料館・和田越史跡見学（中学2年）、北方サミット関連講話（外部講師参加 小学5年～中学3年）、体験学習のまとめ（各学年）
----	---

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

※取組内容が分かる資料等がある場合は、適宜添付すること。

※本事業から経費を支出した事項（会議・研修会・フォーラム等の開催、視察、調査研究の委託など）については、必ず記載すること。

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

調査研究推進会議を行い、各分野の代表者の方々から広く意見を伺うことができ、学校運営や児童・生徒の体験学習に生かすことができた。また、地域の方へのアンケートで、「北方学園が行っている教育活動でご存知のものはありますか」という問いに対して28年度は地域学習を知っていると答えたのは20.7%であったが、29年度は25.7%となり、各設問項目の中で最も高い値であった。

本事業を通して、本校では、これまで行ってきた児童・生徒への教育効果が高い学習を継続することができた。また、学校外の各種団体の定例会に参加することで、新たな学習の機会や人材を創出することができた。

北方町の干支の町フェスティバルに計画の段階から参画し、中学生が運営等で協力して、フェスティバルを成功させ、北方町の活性化につながった。

9年間を見通した地域体験学習等を整理することができた。学校支援地域本部のコーディネーターを調査研究推進会議の委員として参加してもらうとともに、本事業のコーディネーターが地域人材の発掘や連絡等を行うことで、体験学習等をスムーズに行うことができた。

※必要に応じて、適宜、表を追加・削除すること。

(2) 成果物等

- ・平成29年度北方学園体験学習等一覧（電子データ添付）
- ・平成29年度北方学園の教育活動に関するアンケート（電子データ添付）

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

※成果物（冊子・パンフレット等の印刷物）については、10部添付すること。

※成果物（冊子・パンフレット等の印刷物）の電子媒体がある場合は、併せて送付すること。

(3) 今後の取組予定

これまでの取組を検証しながら、活動内容をさらに充実させていくとともに、地域の方々へ発行する「北方学園だより」やホームページ等を充実させ、地域の方々へ学校の取組を知ってもらい、地域の学校として認識してもらおう。また、各方面の優秀な人材や団体等に講師をお願いし、体験活動を行ったり、講演を行ったりして、児童生徒の学習を充実させていく。

※要点をまとめ、簡潔に記載すること。